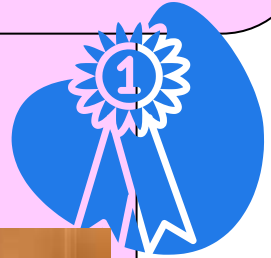


平成26年度 横浜市公園愛護会 表彰式



平成26年度横浜市公園愛護会表彰
で市長表彰の贈呈の贈与式で鈴木副
市長から受けみなさんと記念撮影



鶴見区では個人表彰は栄町
公園愛護会が表彰され、
団体表彰は、駒岡岩瀬公園
と貨物線の森緑道愛護会が
鶴見区では表彰されました。
鶴見区征矢区長と鶴見土木
事務所北橋所長と共に記念
撮影しました。

みなさん、おめでとうございます



公園を紹介したパネルの前や公園愛護会のキャラクターあいごぼんと記念撮影

鶴見区 貨物線の森緑道愛護会

公園の特徴

貨物専用線の鉄道敷地跡に整備された緑道です。工業地帯の真ん中に緑を配した遊歩道として、街に彩を添えています。

活動の紹介

鶴見区から神奈川区にまたがる貨物線の森緑道では、「貨物線の森ファン倶楽部」が活動しています。この団体を母体として、貨物線の森緑道愛護会が結成され、活動しています。

緑道清掃だけにとどまらず、市の支援・アドバイスを得て、緑道延伸整備予定地に多様な生物をはぐくむ水辺のビオトープを設け、環境整備などを展開しています。

春先には、野草の観察などを実施しており、外来種の見分け方や、花や草木の有効な手入れ方法などについて周知する環境活動教育に取り組んでいます。

鶴見京浜臨海部で「京浜の森づくり」の一環として進められている「トンボの生態調査」にも参画しています。トンボの生態観察・調査を通して、生態系の中のビオトープの有用性・重要性についても、啓発活動に取り組んでいます。

平成26年度は、鶴見区関係部署と連携して「トンボ捕り大作戦2014」を、夏休み向けイベントとして開催しました。また、ビオトープの大切さを次世代に伝える「トンボでつなぐ京浜の森10年の記録」を、地域向け冊子として作成しています。

ほかにも近隣の小学生と協働し、どんぐりから苗木を育てる森づくり活動にも取り組んでいます。

公園愛護会の活動領域を超え、積極的に地域の環境啓発活動に取り組んでいる団体です。

活動の様子



手作りビオトープを観察



花壇づくりの様子



作業の合間のひと休み

◇ 活 動 公 園 ◇

大黒町18番地の1 / 貨物線の森緑道(緑道)(8,377 m²)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成20年6月29日

鶴見区 駒岡岩瀬公園愛護会

活動の様子



夏祭りにはお神輿の拠点になる



園内の様子



芝生の手入れも欠かさない

公園の特徴

鶴見区の郊外、住宅地の中にある公園です。
シンボルツリーとしてケヤキと桜が公園中央にあります。周囲には芝生が敷かれ、ツツジやサツキ、ユキヤナギ、シャクナゲ、紅梅などが季節の花を咲かせて公園を彩ります。

活動の紹介

駒岡岩瀬公園愛護会は、町内会と子供会が協働で活動しています。

芝刈りや草取り、低木の剪定を年4回にわたり行っています。芝生の部分が多く、その手入れに力を入れており、夏季には愛護会長が先導して草刈機を用いて、芝を刈り込んでいます。一回あたり45ℓごみ袋30袋分の草取りごみが出ます。

周囲が戸建て住宅に接しているため、公園外周の雑草や樹木には特に気を配りながら、草刈りや枝葉の剪定を実施しています。

一年を通して全体景観を考え、美観を保っていけるよう、清掃活動に日々取り組んでいる愛護会です。

夏休みには子供会のラジオ体操の会場となるほか、地域の夏祭りではお神輿の拠点に、また、秋の防災訓練では避難訓練の場所として利用されています。

活力にあふれた地域になくてはならない公園となっており、愛護会もその発展の一翼を担っています。

また、子供たちがいつでも安心して安全に遊べるように、公園の見守り活動に留意しています。

◇ 活 動 公 園 ◇

駒岡四丁目2342-1 / 駒岡岩瀬公園(街区公園)(1,634 m²)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成10年3月31日